

【GF草退治粒剤】2007年11月1日作成

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

〔適用雑草と使用方法〕 ←この色の部分が2005年6月22日付けで適用拡大になりました

※印は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示します。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※	使用方法
樹木等	駐車場、墓地、道路、宅地、堤とう、運動場、庭園、公園等	一年生雑草	雑草発生前	10～20g/m ²	本剤：3回以内 シアナジン：3回以内 DCBN：3回以内 DCMU：3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布
		多年生広葉雑草 スギナ	～生育初期 (草丈20cm以下)	20～40g/m ²		

【効果・薬害等の注意】

- ①雑草が大きくなりすぎると効果が劣りますので、雑草発生前～生育初期、または雑草を刈払った後早目に散布してください（効果）。
- ②ススキ、ササ等のイネ科多年生雑草には効果が劣りますので、これら雑草の優占圃場での使用はさけてください（効果）。
- ③土壌が極端に乾燥している時の使用はさけ、適度の水分を含んでいる時に散布してください。但し、激しい降雨が予想される場合は使用をさけてください（効果）。
- ④植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないでください。また、樹木等の周辺では樹冠下より1m以上離して使用してください。植物のは種または植栽予定地及び傾斜地には使用しないでください（薬害）。
- ⑤本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意してください。

【安全使用上の注意】 マスク着用

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。
- ③かぶれやすい人は取扱に十分注意してください。
- ④散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして衣服を換えてください。作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- ⑤公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。自動車、壁、ペット、洗濯物、玩具などにかからないようにしてください。
- ⑥水源池、養殖池、水槽、池、河川等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- ⑦使用量に合わせて秤量し、使いきってください。使用後の空袋は良くたたいて中身を完全に出してから環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- ⑧使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

魚毒性：通常の使用方法では問題ありません。

〔注意〕

- 土壌条件、気象条件によっては、効果にむらが生じる場合があります。
- 雑草の中には枯れにくい種類もあります。
- 有用植物も枯らします。

●芝生には使用できません。

【1容量で散布できる面積】

適用雑草名	900g	2kg	3kg
一年生雑草	45～90m ² (約13.7～27.2坪)	100～200m ² (約30.4～60.6坪)	150～300m ² (約45.5～90.9坪)
多年生広葉 雑草、スギナ	22.5～45m ² (約6.9～13.6坪)	50～100m ² (約15.2～30.3坪)	75～150m ² (約22.8～45.4坪)

枯れ始めるまでの日数	1～2週間
効果の持続の目安	3～6ヵ月